

開催日時：2002年9月11日(水)14:00～16:15

場所：ぱ・る・るプラザ京都6階 会議室6

参加者数：委員7名

## 1 検討内容および決定事項

一般意見聴取WGの体制について

- ・リーダーは、三田村委員、サブリーダーは、塚本委員とする。
- ・河川管理者には、議論のプロセスを理解してもらうことと、これまでの取組みなどについて何うケースが予想されることから、毎回出席を要請する。
- ・議論を円滑に進めるため、メーリングリストを利用する。
- ・WGは、今後、3回開催予定。最後のWGで最終提言(一般意見)のWG案を確定させ、10月24日に予定される第4回最終提言作業部会に提出する。

今後のWGの進め方について

- ・関係住民の意見の反映の方法だけでなく、あり方について、幅広く検討する。
- ・流域委員会における、一般意見に関係するこれまでの活動を整理し、評価した上で、課題などを抽出する。
- ・住民意見聴取に関する問題について、WGメンバーがヒヤリングに出て行く事も検討する。このことは、委員会にて承認いただくようお願いする。
- ・これまでに寄せられた一般意見に対する流域委員会としての対応、及び「関係住民の意見反映方法の提言」をより良いものとするための試行的活動については、引き続き検討する。

フリーディスカッション

- ・淀川水系における住民意見聴取については、海外の事例を参考にするだけでなく、淀川らしい住民参加のあり方を検討すべきだ。
- ・住民意見反映のあり方については、手法の議論に留まらず、河川管理者と住民との関係まで含めて包括的な議論が必要だ。
- ・河川整備計画は、長期のスパンで検討されるべきであり、特に若い世代の意見を取り入れる手法を検討すべきである。
- ・住民の意見を無視して委員の専門的な議論だけで話を進めていくのはよくない。住民の意見はしっかり聞くべきだ。

## 2 次回のスケジュール

- ・委員のスケジュールを調整し、決定する。

以上

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。